

日本原子力学会 核燃料部会 第44回全体会議 議事録

- ・日時：平成29年3月27日（月） 12:00～12:30
- ・場所：東海大学湘南キャンパス
- ・出席：約30名

配布資料を用いて、庶務幹事から次の報告、説明がなされると共に、部会長等の選任について、審議が行われた。

1. 活動報告（報告）

次の通り報告され、特に質問や意見は無かった。

(1) 全体会議

- ・平成29年3月27日（月） 東海大学

(2) 運営小委員会

- ・平成28年度 第一回 平成28年 5月23日（月） 学会事務局
- ・平成28年度 第二回 平成28年 7月6日（木） 夏期セミナー会場
- ・平成28年度 第三回 平成28年10月24日（月） 学会事務局
- ・平成28年度 第四回 平成29年 2月 20日（月） 学会事務局

(3) 企画小委員会

- ・平成28年度 第一回 平成28年 5月13日（金） 学会事務局
- ・平成28年度 第二回 平成28年 8月29日（月） 大阪大学東京ランチ
- ・平成28年度 第三回 平成28年10月11日（火） 学会事務局
- ・平成28年度 第四回 平成29年 1月24日（火） 学会事務局

(4) 夏期セミナー

a. 第30回 核燃料・夏期セミナー

- ・日時：平成28年7月6日（水）～8日（金）
- ・場所：伊香保温泉 ホテル天坊（群馬県渋川市）

(5) 原子力学会 年会・大会企画セッション

a. 2016 年秋の大会企画セッション「核燃料関連の安全性向上に係る課題のロードマップの検討」

- ①燃料信頼性向上・高度化
- ②炉心・熱水力設計評価技術の高度化
- ③事故耐性燃料の開発
- ④燃料安全高度化ロードマップのインターフェース

b. 2017年春の年会企画セッション「マイナーアクチノイド (MA) の分離変換のための燃料技術開発」

- ①MA 含有酸化物燃料の開発の現状と課題
- ②MA 含有金属燃料の開発の現状と課題
- ③MA 含有窒化物燃料の開発の現状と課題
- ④総合討論

(6) ワーキンググループ (WG)、委員会

a. 軽水炉燃料等の安全高度化ロードマップ検討WG

東京大学の阿部先生を主査として、3回の全体会合を開催。活動期間は平成30年3月まで。

b. トリウム燃料の利用に関するWG

大阪大学の山中先生を主査として、平成26年度までの「軽水炉・高速炉におけるトリウム燃料の利用WG」の活動を継承し、WGを立ち上げ活動を継続。4回の全体会合を開催。活動期間は平成29年3月まで。

c. ジルコニウムに関するWG (ジルコネット)

2017年第4回アジアジルコニウム会議についてメーリングリストで周知を実施、また、第3回アジアジルコニウム会議の余剰金の部会への寄付手続きを実施。

d. 燃料デブリ研究専門委員会

大阪大学の山中先生を主査として、核燃料部会その他、材料部会、炉物理部会、熱流動部会等、学会横断的な専門委員から構成する委員会を6月に設立、6回の全体会合を開催。活動期間は平成30年3月まで。

(7) 国際会議・セミナー

a. TopFuel2016

平成28年9月11日から15日までアメリカ・アイダホ州ボイジーで開催。

(8) 第5回核燃料部会 部会賞 (奨励賞) の選考

部会賞 (奨励賞) の選考結果の報告と授賞式が行われ、受賞者から挨拶が行われた。受賞者 (応募順)

・佐々木 孔英 氏 (日本原子力開発機構)

「高速炉用燃料被覆管材と Cs-Te 化合物の化学的相互作用に関する研究」

・楊 会龍 氏 (東京大学大学院)

「原子燃料被覆管用 Zr-Nb-Mo 合金の開発に関する研究」

2. 平成28年度収支見通しおよび平成29年度予算 (報告)

平成28年度は、第3回アジアジルコニウム会議の余剰金、夏期セミナー余剰金の収入があり、総収入が総支出を上回る見通しであること、並びに、平成28年度末の時点で繰越金は3,683,386円の見通しであり、このうち1,367,517円はWRFPM、700,000円はANFCの次回国内開催に向けて確保されていることなどが報告された。

3. 部会長等の選任（審議）

部会長等の選任について、次の通り承認された。

(1) 部会長の選任

湊和生（日本原子力研究開発機構）【退任】 ⇒ 寺井隆幸（東京大学）【新任】

(2) 副部会長の選任

山中伸介（大阪大学）【退任】 ⇒ 宇埜正美（福井大学）【新任】

伊藤邦博（ニュークリア・デベロップメント）【再任】

(3) 運営小委員の選任・退任

湊和生（日本原子力研究開発機構）【退任】

山中伸介（大阪大学）【退任】 ⇒ 黒崎健（大阪大学）【新任】

永瀬文久（日本原子力研究開発機構）【退任】 ⇒ 天谷政樹（同左）【新任】

武田高明（四国電力）【退任】 ⇒ 大矢賢太郎（四国電力）【新任】

安部田貞昭（元・三菱重工業）⇒【退任】

4. 平成29年度業務担当（報告）

次の通り報告され、特に質問や意見は無かった。

担当		H29 年度担当者
広報		[東北大学] 佐藤委員
部会報		[四国電力] 大矢委員
国際活動		【日本原子力研究開発機構】逢坂委員
国内企画(横断活動、年会時企画)		[九州大学] 橋爪委員、[日本核燃料開発] 平井委員
庶務幹事(財務含む)		[ジルコプロダクツ] 岩元委員
夏期セミナー幹事		[京都大学] 高木委員、[日本原燃] 上田委員
部会代表	部会等運営委員	[ニュークリア・デベロップメント]伊藤副部会長
	評議員	[福井大学]宇埜副部会長

5. 今後の活動予定（報告）

(1) 部会報 : 第 52-2 号（平成 29 年 5～6 月頃発行予定）

(2) 夏期セミナー : 第 30 回 核燃料・夏期セミナー

日時：平成 29 年 7 月 5 日（水）～7 日（金）

場所：青森県青森市浅虫温泉

(3) 講演会 :（未定）

(4) 国際会議・セミナー : 国際会議 HOTLAB2017（平成 29 年 9 月 17～22 日、水戸）

国際会議 WRFPM2017（平成 29 年 9 月 10 日～14 日、韓国）

国内会議 ANFC2017（平成 29 年 9 月頃（日程調整中）、韓国）

(5) 運営小委員会 : 平成 29 年度第一回運営小委員会（平成 29 年 5 月 26 日）

(6) 全体会議 : 平成 30 年春の年会時（平成 30 年 3 月 26～28 日予定、於；大阪大学）

6. 部会長等からの挨拶

寺井新部会長から副部会長、運営小委員とともにしっかりと対応していきたいとの新任の挨拶に続いて、湊部会長からは、核燃料の分野は原子力の重要な部分であり、今後も活躍して欲しいとの退任の挨拶が行われた。

以上